

第 20 回 圧迫性脊髄症研究会

日時：平成 31 年 1 月 19 日 (土) 13:00 ~ 17:30

会場：AP 東京八重洲通り 7 階 P+Q+R ルーム

東京都中央区京橋 1 丁目 10 番 7 号 KPP 八重洲ビル

Tel. : 03-6228-8109

参加費：3000 円



第 20 回 圧迫性脊髄症研究会

会長 神崎 浩二

共催 圧迫性脊髄症研究会

エーザイ株式会社

平成 30 年 12 月吉日

第 20 回 圧迫性脊髄症研究会開催にあたって

師走に入り、寒さが身に染みる日々になりましたが、皆様にはますますご活躍のことと拝察いたします。

さて、第 20 回圧迫性脊髄症研究会を「外傷をきっかけとした脊髄障害」をテーマとして開催させていただきます。脊椎の骨折や脱臼による神経麻痺は非常に重篤となり、神経症状の改善も困難な場合が少なくありません。脊椎外科の進歩が著しい昨今においてもまだ多くの問題が山積していると考えられます。また骨傷のない脊髄損傷や、静的神経圧迫はなく動的不安定性があるための脊髄損傷など診断に苦慮する症例も多く存在します。先生方の貴重なご経験をご発表頂き、本研究会で得られた知見をもとに、的確な診断・治療に結び付けて頂ければと期待しております。会場は昨年と同じ東京駅からも近い AP 東京です。多くの先生にご参加をお願い申し上げます。

末筆ながら、先生方のますますのご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

第 20 回圧迫性脊髄症研究会

昭和大学藤が丘病院

会長 神崎 浩二

演者・座長の先生へ

発表時間：1 演題当たり発表時間 6 分(まで)、討論 4 分、計 10 分。発表時間を厳守いただきまして、円滑な会の運営と実りある討論ができますようにご協力いただきたいと存じます。

発表方法：動画、音声が無い場合は **USB** の持参をお願い致します。動画・音声がある場合は作動の問題が生じることがありますので、各自 **PC** を持参をお願い致します。プロジェクターの接続コネクタは D-sub15 pin タイプですので、ご確認ください。又、**Mac 使用の場合は接続コネクタをお忘れないようにお願いします。**

情報交換会はいりません。

ご不明な点や問い合わせがありましたら下記へご連絡ください。

連絡先：昭和大学藤が丘病院 整形外科内 第 20 回圧迫性脊髄症研究会事務局 森島紀子

e-mail: fujiortho@med.showa-u.ac.jp

〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 TEL：045-971-1151 FAX：045-974-4610

AP東京八重洲通り 7階 へのアクセス



所在地・電話番号

〒104-0031
東京都中央区京橋1丁目10番7号
KPP八重洲ビル7・11・12・13階
Tel : 03-6228-8109
Fax : 03-6228-9109

交通アクセス

JR各線をご利用の場合

「東京駅」八重洲中央口より徒歩6分

東京メトロ銀座線をご利用の場合

「日本橋駅」徒歩約5分

「京橋駅」徒歩約4分

都営浅草線をご利用の場合

「宝町駅」徒歩約4分

第20回 圧迫性脊髄症研究会 「外傷をきっかけとした脊髄障害」

プログラム

13:00 ～ 13:05 開会の辞

昭和大学藤が丘病院 整形外科 診療科長 教授 神崎 浩二

13:05 ～ 14:15 「一般演題」 7題

座長：済生会川口総合病院 新井 嘉容

1. 難治性透析脊椎症の一例

¹⁾ JCHO 東京新宿メディカルセンター 脊椎脊髄外科、²⁾ 群馬大学 整形外科 角田大介(つのだだいすけ)¹⁾、飯塚陽一²⁾、三枝徳栄²⁾、筑田博隆²⁾

2. Redundant spinal cord の1例

¹⁾ 金沢医科大学 整形外科、²⁾ 石川県立中央病院 川原範夫(かわはらのりお)¹⁾、川口真史¹⁾、清水義朗¹⁾、織田悠吾¹⁾、米澤克隆¹⁾、佐々本文嗣¹⁾、福井信¹⁾、森川高志¹⁾、安竹秀俊²⁾、

3. 神経症状を呈した頸椎椎間関節嚢腫

昭和大学藤が丘病院 整形外科 國枝裕介(くにえだゆうすけ)、矢富健太郎、落合淳一、中島崇之、瀬上和之、神崎浩二

4. 異なる治療法で改善した首下がり症の2例

神戸労災病院 整形外科 金山修一(かねやましゅういち)、鷺見正敏、笠原孝一、金村在哲、平田裕亮、伊藤雅明、吉川智也、大西洋輝、長田尚介、加藤領

5. 特発性脊髄硬膜外血腫27例の治療成績

昭和大学医学部整形外科学講座 脊椎外科センター 丸山博史(まるやまひろし)、豊根知明、白旗敏之、工藤理史、松岡彰、江守永、山村亮、石川紘司、尾又弘晃、大下優介、星野雄志、神與市、古森哲、谷聡二、稲垣克記

6. 脊磁図による非侵襲的脊髄機能診断

東京医科歯科大学 先端技術医療応用学講座／整形外科 川端茂徳(かわばたしげのり)、佐々木亨、牛尾修太、平井高志、猪瀬弘之、吉井俊貴、渡部泰士、星野優子、大川 淳

7. 農業従事者における頸椎脊柱管狭窄の調査

¹⁾ 弘前大学整形外科、²⁾ 弘前大学社会医学 和田簡一郎(わだかんいちろう)¹⁾、熊谷玄太郎¹⁾、工藤整¹⁾、浅利享¹⁾、小山一茂¹⁾、石橋恭之¹⁾、太田聖也¹⁾、井原一成²⁾、中路重之²⁾

14:20 ～ 15:20 「脊椎外傷 1」 6 題

座長：昭和大学藤が丘病院 落合 淳一

8. 水頭症を合併した環軸椎垂直脱臼

順天堂大学医学部附属静岡病院 牛牧誉博（うしまきたかひろ）、玉川翔太 糸井陽 大林治

9. パイルドライバーによって生じた中心性頸髄損傷の一例

横浜旭中央総合病院 整形外科 朝倉智也（あさくらともや）、杉崎慶三、神崎浩二

10. 両側椎骨動脈解離をきたした軸椎骨折の 1 例

成田赤十字病院 整形外科 萬納寺誓人（まんのうじちかと）、喜多恒次、板橋孝

11. 環軸椎亜脱臼術後環椎前弓骨折の 3 例

済生会川口総合病院 整形外科 山田剛史（やまだつよし）、小柳津卓哉、松倉遊、榊経平、鳥越一郎、坂井顕一郎、吉井俊貴、大川淳、新井嘉容

12. 頸椎脱臼整復に伴った椎間板ヘルニアの発生機序と損傷型の特徴

¹⁾ 順天堂大学医学部附属静岡病院、²⁾ 伊東市民病院 糸井陽（いといあきら）¹⁾、牛牧誉博 ¹⁾、玉川翔 ¹⁾、高橋良介 ²⁾

13. 第 2 頸椎骨折に対する骨接合術

今給黎総合病院 宮口文宏（みやぐちふみひろ）、川畑 直也、松永俊二

15:20 ～ 15:30 Coffee break

15:30 ～ 15:40 製品紹介 エーザイ株式会社

15:40 ～ 16:10 ミニレクチャー

「 頸椎前方浮上術の実際 」

昭和大学藤が丘病院 診療科長 教授 神崎 浩二 先生

16:15 ～ 17:25 「脊椎外傷 2」 7 題

座長：群馬大学医学部整形外科学教室 筑田 博隆

14. Doctor's delay により頸髄損傷を生じた、頸椎 DISH 骨折の一例

東京医科歯科大学 整形外科 小林裕（こばやしゆたか）、猪瀬弘之、歌川蔵人、川畑篤礼、橋本淳、牛尾修太、湯浅将人、平井高志、吉井俊貴、大川淳

15. Doctor's delay により麻痺が悪化した DISH 関連骨折の 2 例

兵庫医科大学 整形外科 楠川智之（くすかわともゆき）、圓尾圭史、有住文博、楠山一樹、木島和也、吉矢晋一、橘俊哉

16. 変性後側弯症術後に近位隣接椎体骨折により遅発性麻痺を生じた 1 例

防衛医科大学校病院 整形外科 寺本裕明（てらもとひろあき）、今林英明、脇田晃光、小柳津大樹、佐々木淳也、田原健一、三宅敦、千葉一裕

17. 頸椎 chance 骨折術後四肢麻痺を呈した 1 例

兵庫医科大学ささやま医療センター 整形外科/兵庫医科大学 整形外科 山浦鉄人（やまうらてつと）、楠山一樹、圓尾圭史、有住文博、橘俊哉

18. 頸椎後方除圧後に再手術を要した症例の検討

慶應義塾大学 整形外科 名越慈人（なごしなりひと）、辻収彦、鈴木悟士、岡田英次朗、藤田順之、八木満、中村雅也、松本守雄、渡辺航太

19. 頸髄損傷の既往を有する頸椎症性脊髄症の手術成績

千葉大学大学院医学研究院整形外科学 古矢丈雄（ふるやたけお）、牧聡、北村充広、宮本卓弥、志賀康浩、稲毛一秀、折田純久、國府田正雄、山崎正志、大鳥精司

20. 当院における中下位頸椎脱臼骨折の治療経験

杏林大学医学部附属病院 整形外科学教室 小西一斉（こにしかずまさ）、佐野秀仁、細金直文、長谷川雅一、高橋雅人、大畑徹也、稲田成作、佐藤俊輔、市村正一

17:25 ～ 閉会の辞

圧迫性脊髄症研究会 代表世話人

東京医科歯科大学 大川 淳

共催 圧迫性脊髄症研究会

エーザイ株式会社